

感染防止対策チェックリスト（主催者向け）

別添 1

大会開催にあたって

- 施設の立地する自治体の衛生部局等と、以下の点等について事前に検討しておく
 - イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症発症の報告があった場合の対応について
 - 地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について
- 感染防止のため実施すべき事項をチェックリスト化する
- 感染防止のため参加者が遵守すべき事項をチェックリスト化する(健康等チェックカードの作成)
- 大会当日、受付にて「健康等チェックカード」の提出を選手等に求める
- チェックリストの結果の書面は、保存期間（1ヵ月以上）を定め保存しておく
- 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮する
- 大会要項等で事前にマイチョークの持参・使用を促す

参加募集について

- 感染拡大防止のための措置について、大会要項やインターネットと等を通じて公表し、その内容について遵守できることを前提に参加応募できる旨を伝える。
例) 別添 3 参照：「感染防止対策チェックリスト（参加者向け）」の「参加応募時について」

大会開催会場について

- 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う
- 定期的な換気に加え、空調の活用及び扇風機の併用する（熱中症リスクにも備える）
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する
- 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする
- 手洗い後の手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）またはアルコール消毒液を用意する
- （手洗い後の乾燥用設備は使用しない）
- 休憩や待機スペースは、密になる状態を避けるよう配慮する
- 会場内が密にならないよう、座席数を減らすなどの対応をする
- 共用チョークについては原則撤去し、開会式等でマイチョークの使用を案内する
- ビリヤード台と待機スペースはできるだけ広めに確保する
- ゴミ回収時の手袋等を準備する
- 鼻水や唾液などの懸念される使用済マスクや使用済ティッシュ等を密閉するビニール袋を準備する

競技備品等の準備について

- 試合球は出来る限り予備分を用意し、こまめに消毒・清掃を行って交換しながら使用する
- スコアボード、メカニカルブリッジその他備品類のこまめな消毒など衛生対応
- 共用チョークについては原則撤去し、事前にマイチョークの持参・使用を促す

運営スタッフの体調管理について

- 大会参加者へのチェック項目と同様の確認、提出を求める
例) 別添 5 参照：「健康等チェックカード」

感染防止対策チェックリスト（主催者向け）

別添 2

大会当日の開始時について

- チェックリスト等の各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認する
- 受付窓口には、アルコール等の手指消毒剤を設置する
- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する
- 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行う
- 運営を行うスタッフには、マスクを着用させる
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかける
- 参加者から以下の事項を記載した書面・メール等の提出を求める※個人情報の取扱いに十分注意
例）別添 5 参照：「健康等チェックカード」

大会開催中について

- 入口ドアの開放、換気扇の常時稼働、窓の開放等、換気に配慮する
- トイレで複数の方が触れる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）は、こまめに消毒する
- 会場内で複数の方が触れる場所（ドアノブ、ロッカー取手、テーブル、イス等）は、こまめに消毒する
- 会場出入口付近通路等に消毒剤を設置する
- 会場内が密にならないようにする
- 室内のスペースが限られる場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる
- 試合開始、終了時に一斉に移動しないようコントロールする（呼出し順の工夫など）
- 会場内の人の会話をできるだけ控える
- ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用する
- 鼻水や唾液などの懸念される使用済マスクや使用済ティッシュ等は、ビニール袋に密閉して捨てる
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する

試合中について

- 会場内は、マスクの着用をする
- レフリーを配置する場合は、レフリー中にもマスクの着用する
- 試合前後の握手はしない
- タオル、おしぼりなどの共用はしない
- 開・閉会式、表彰式等はできるだけ簡略化する

観戦中について

- 観戦時はマスクをしているか確認し、未着の場合は着用を促す
- 観戦場所が壁際や狭いスペースに限られる場合には、観戦者の入場許可を見合わせる
- 大きな声で声援をしない